

表象の縫い目 Seams of Respresentation

中森 碧 NAKAMORI Midori

2021 年 02 月 03 日 (水) - 02 月 13 日 (土)
OPEN pm 1-7 水・木・金・土曜 (日・月・火曜休廊)

+2 ギャラリーでは、+1 art での企画展とリンクしながら、新進の若手作家による展覧会を開催しています。実験的な試みの発表の場として、ホワイトキューブではない小空間を活用した企画を行っています。

本展では、中森 碧による銅版画作品をご紹介します。ベルソーという櫛状の道具を左右に揺らし刻面に細かな溝を付けて目立てた溝を潰したり削ったりすることによって、深い黒色と明暗の細かな調子を生み出すメゾチントという技法、中森はこの技法にこだわり、対象物を空間として捉える作業を試みています。

+1とあわせてご覧いただけますようご案内申し上げます。

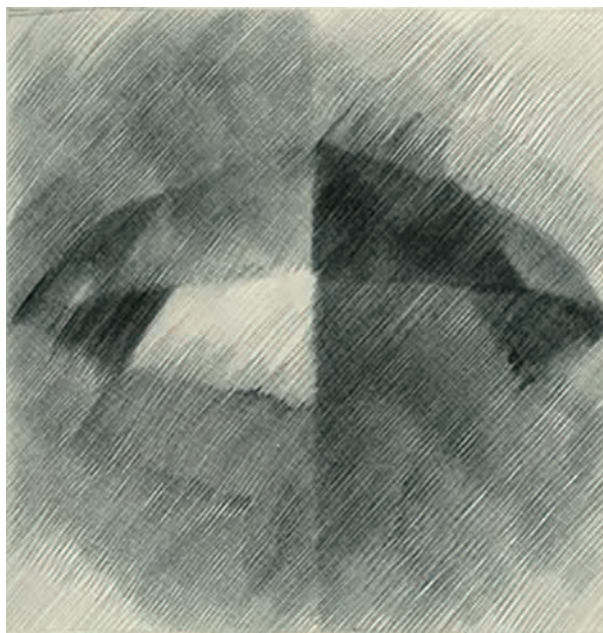
+1 art

中
森
碧

NAKAMORI Midori



1996 北海道札幌市生まれ
2020 京都市立芸術大学 美術学部 卒業
2021 京都市立芸術大学 大学院 美術研究科修士課程 在学中



ベルソー (仏) と呼ばれる、主に銅版画のメゾチントという技法に使用される道具があります。この道具は無数の点によって線を引くことが可能です。私はこの道具を使って線を引く過程の中で、描く対象物の実在について考えます。対象物の「動き」と「面」、そして「それらが存在する空間」に意識を向けて制作したものは、微かに思い描く切れ切れのよう情景のようであり、時に曖昧な画面を表し、時に明瞭な空間を表します。

展覧会では、ベルソーの他に、新たに使用し始めた道具で制作した作品も展示致します。また、plane series では腐蝕技法も取り入れ、より多くの角度から対象物を見つめました。ご覧いただければ幸いです。